

木で見直す、無垢のある暮らし。

# WOOD ONE

Toward a Creative  
Architectural Scene.

vol.5



思い描く家のイメージに  
ぴたりとはまる  
キッチン。

無垢の  
あたたかい  
表情。



新潟市内、住宅街の一角に建つウッドハウス風の一軒家。約2年前に建てられ、奥様とお子様2人の4人家族で暮らすご主人にお話を伺いました。もともと家の中の間取りや建具などを考えることがお好きだったN様。この家を建てる切っ掛けは、運良く土地が見つかり、気軽に相談できるビルダー様と知り合ったことからだそう。ビルダー様とは今や、気心知れた間柄。「妻とビルダーさんの奥さんが同じ会社で、それでお願いしようかと。建てるにあたってかなり細かなこだわりがあったんですけど、僕らの注文を辛抱強く聞いてくれました(笑)」。目指したのは、アーリーアメリカンテイストの家。山吹色やターコイズブルーなど、色鮮やかに彩られた壁、スタンドガラスの小窓など、家中の至るところにお二人のこだわりが込められています。「自分たちでいろいろと考えた色が、イメージ通りきれいにはまっている」とご主人。お子様たちと集めているカラフルなおもちゃたちも、部屋の雰囲気にすっと馴染みます。それだけの数があれば雑多に見えてしまうもの。しかし、壁の色によく映えてインテリアの一部のようです。家の中では特に、キッチンに力を入れられたとか。理想のアーリーアメリカンテイストに

合うのは 無垢材のキッチンだと、奥様と一致。タイルのワークトップは奥様のこだわりで、ウッドワンのショールームを見学された際に「これだ」と即決されました。「他のキッチンはどこか無表情なところがあって。でもスイージーのキッチンなら僕たちのイメージにぴったりでした」。使い勝手を考えた工夫がキッチンの随所に施されています。キッチンカウンターの立ち上がり部分にフックを付けたり、棚を設けてマグカップを置けるようにしたりなど。奥様こだわりのワークトップ(タイル天板)は、汚れてもサッと拭けるのでお手入れがしやすく、調理スペースも広がったことで、以前使われていたキッチンに比べると数倍も使いやすくなったと喜ばれているそうです。

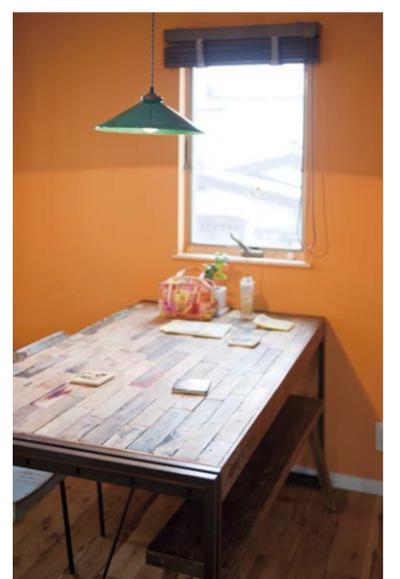
下のお子様生まれる年に完成したN様のマイホーム。新たにウッドデッキを作ろうと計画され、ビルダー様ご夫妻と食卓を囲みながら打ち合わせを重ねることもあったとか。「お酒も入ってなかなか話が進まなかったけど」と笑顔のご主人。その念願のウッドデッキも完成します。お二人が思い描く理想の住まいが叶えられていきます。



音楽CDを並べる予定だったマガジンは、お子様たちの絵本棚に。



空間を鮮やかに彩る壁やスタンドガラスの配色が素敵。





Lifestyle with su:iji  
スイーザーのある暮らし

Case 01

自分たちが思い描くイメージに  
きれいに“はまる”家をつくる。

su:iji ニュージーパイン® NZ40 ミディアムブラウン色



部屋を形作るインテリアも、  
とっておきを揃えたいN様。偶  
然カフェで見掛けた壁掛け時計  
をネットで検索して探し当てる  
ほど。



家を通して家族が温かくなってほしいという想いのもと、建築業を営む会社が新潟県見附市にあります。無垢材を取り入れ、あたたかみ溢れる家を提案されてきたH専務にお話を伺いました。専務のもとに相談に来られるお客様は、20代後半から40代と幅広い年齢層。イメージを伺っていく中で、ナチュラルなインテリアがはまるカフェのような家が好まれていると感じられたのだそう。ニュージーパイン®のキッチン扉にホワイト色があることをカタログで知り、お客様が持つイメージにぴったりだと、スイージーのキッチンを導入されました。「本物の木なのでお手入れの面を気にされるお客様もいらっしゃいましたが、表面の汚れが落ちやすいようさらに工夫していると聞いて、実際に工場まで行って拝見しました。これなら大丈夫だなと思いましたね」。

キッチンを起点にイメージを膨らませ、全体のインテリアも合わせていったという専務。キッチン扉の黒のアイアン取手に合わせ、周りのインテリアにも黒のアクセントを取り入れられました。また、イメージの統一を図り、一般的に建具等もウッドワンの商材を選択。多くの女性に好まれそうなカフェ風の空間が広がっています。「もちろん、見た目のかわいさだけではダメ。生活しやすいかどうかも重要」と専務。その言葉通り、新潟という地域性を踏まえた“ちゃんと暮らせる”工夫が感じられる家になっています。例えば、キッチンからそのまま行ける野菜庫。寒い冬でも暖かく過ごせる構造のため、傷みやすい野菜を大量に保管できる非断熱層の空間です。また、年間の半分は雨が降りやすい新潟だからこそ、日差しが入る南側の空間に物干スペースが設けられています。外出途中に雨が降り出すことも多いこの地域では、室内に干したいというご要望が多く、お勤めをされている方などには嬉しい工夫。「部屋で区切られていますので、お客様が突然来られた時でも、急いで片付ける必要もありません」。防寒着やシャベルなどの季節の道具を片付けられる収納もたっぷりと備えてあり、新潟での生活スタイルを意識した住宅が実現しています。

そして、「暖かい家づくり 温かい人づくり」という会社の経営理念にあるように、奥様がキッチンに立っていても、家族とつながっているように感じられる空間に設計されています。そこに家族がいるのを感じながら、パソコンや読書ができる中2階スペースや、「ごはんですよ」とキッチンから呼ばれば、ひよこっと顔を出せるような書斎の窓など。目線のある程度隠しながらも、家族とのつながりを感じられる設計です。見学に来られるお客様全員が、あたたかみのあるキッチンの表情と、そこから広がる空間に魅了されるのだそう。「この家を通して、家族の絆が深まっていけば素敵」という専務の想いが、必ず叶えられていくと想わせるお家です。



階段下に設けられた勉強部屋。お子様が成長されたら、納戸として活用できる。



うづくり加工を施し、足にやさしい感触が好まれ、ご年配の方に採用されることも多いニュージーパイン®の無垢の床材(現場塗装)。



Lifestyle with su:iji  
スイージーのある暮らし

Case 02

家族のつながりを強めてくれる  
“あたたかい”家のカタチ。

su:iji ニュージーバイン® NZ40 ホワイト色



「スイージーは見せなきゃもったいない」と、その良さに太鼓判を押してくださるH専務。ご自身の好みはモダンテイストながらも、カフェ風インテリア志向に染まるために、雑誌を買い込んで研究されたのだとか。



Lifestyle with su:iji  
スージーのある暮らし

Case 03

本物の木にこだわって建てる、  
すこやかな愛犬家住宅。



オーロラのような炎は、  
冬を待ち遠しくさせる。



生活感が出てしまう物は、  
収納棚に上手に隠してすっきりと。



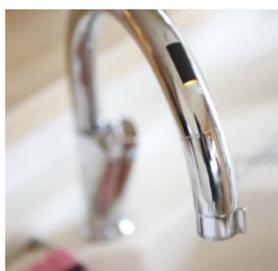
su:iji ニュージーパイン® NZ40 ナチュラル色

「本物の木を使って、家を建てる。そこにこだわりました」。そう話してくださったのは、建築のお仕事をされているT様。「光と風の通る家」をコンセプトに建てられたご自宅は、愛知県日進市にあります。最初は別の土地で新しい家を建てようとして検討されていましたが、お子様2人の「この場所が好き」という意見で、もともと住んでいた築30年ほどの分譲住宅の建て替えを決意されました。吹き抜けのある開放的なリビングに、黒の薪ストーブが木材の床や柱に映えています。木という材質には、保温性があり、熱を閉じ込めてくれるという特長もあります。雪の降る寒い冬でも、このストーブ一台で十分暖かく過ごせるのだとか。「この家に住み始めて約1年。夏も冬も経験しましたが、夏は窓を開けていると涼しく、冬は2階で寝ていると寝汗をかいてしまうほどです」。そしてもう一つ、家族の一員である愛犬が暮らしやすい家というのも設計時のこだわり。「愛犬家住宅コーディネーター」の資格を取得されており、例えば玄関ホールがなく、土間からすぐリビングにつながる設計にされました。段差も極力無くし、愛犬たちがのびのびと走り回れるようになっています。

日本の森林から採れた無垢材を使って住宅を建てる。これには、T様の熱い想いがありました。「日本の木を使えば、山が活性化し、山が豊かになれば川もきれいになる。海もきれいになる。

そうすれば林業も漁業も発展する。伝統的な住文化を失わないために、少しでも未来の子供たちのために貢献できればと思っています」。無垢材にこだわったからこそ、キッチンはいすージーのキッチンを選択。家全体の設計に関してはご主人に全て任せていた奥様でしたが、「キッチンは私が」と、奥様に決定権がありました。ウッドワンのショールームで色々と検討した中でも、いすージーのニュージーパイン®の扉の雰囲気惹かれたのだとか。ナチュラル色のやさしい表情が、ログハウスのようなこの空間に、とても良く馴染んでいます。実はもう少しシックな色目にしたかったところ、ご主人の賛同が得られず、明るめの色をセレクト。それでもこれだけは譲れないと選ばれた黒のアイアン取手が、空間のほどよいアクセントとなっています。

キッチンまわりは、ナチュラルなテイストの雑貨で上手にコーディネートされています。100円均一ショップのものでも十分かわいいんです、と奥様。以前お使いのキッチンは壁付けでしたが、対面になったことで、走り回る愛犬たちの様子を見ながら料理できるようになったと喜んでおられます。「10年、15年後が楽しみです」とT様。いずれは家全体を古民家風に色を塗って、イメージを変えようと計画されており、そのような楽しみ方ができるのも無垢ならではの魅力です。ニュージーパイン® … ウッドワンがニュージーランドで計画的に植林、育林したラジアータパインの登録商標です。



ご自宅に人を招くことが大好きなT様。つい最近もご夫婦二人のご友人たちを招待し、鍋を囲んで語らったのだとか。

窓まわりにも無垢の木の温もりを添える

無垢の木の内窓

MOKUサッシ

無垢ならではの、快適な空間に演出できる無垢の木の内窓「MOKUサッシ」。  
既存の窓の内側から取り付けるだけの簡単施工で、  
二重窓にリフォームできます。無垢の木が持つ自然の温もりが  
優しい雰囲気を醸し出し、二重窓にすることで冬の寒さや結露も防いで、  
防音や、防犯対策にも効果が期待できます。  
さらに、外窓と「MOKUサッシ」の間の空間を利用して、  
簡単に取り付けられる内窓用ブラインドもご用意。  
夏も冬も省エネ効果をさらに発揮し、節電にも最適です。



MOKU サッシ+内窓用ブラインド施工イメージ



掘り込み取っ手

引違い窓(2枚建)  
W1,600×H1,200mm  
※単板ガラス3mm  
完成品価格 ¥75,600(税抜)

2重構造で  
防音

空気層で  
断熱

今ある窓



モクサッシ  
アルミレール

その他、内開き窓や  
内開きドア用などご用意。  
詳しくは、カタログをご覧ください。  
※弊社営業までお問い合わせください。



木のある紀行 ②



新潟には多くの酒蔵が存在し、その数も九十ほど。  
その中で、新潟駅に一番近い「今代司酒造」。  
趣に溢れる佇まいで、奥へと入ってゆくと、  
日本酒のかぐわしい香りが漂ってきます。  
「うちの酒蔵は、アルコールを一切使わない全量純米仕込みです」。  
九代目蔵元が自ら、蔵の中を案内してくれました。  
戦後の米不足で行われるようになった、  
醸造用アルコールや糖類などの添加で  
お酒を増量する「三倍増醸」。  
この方法が全国の酒蔵で取り入れられている中、  
酒造りを見直し、全量純米仕込みに切り替えたのだとか。  
それは酒処新潟において、戦後初の取り組みだったといえます。  
「純米大吟醸 今代司」を口に含むと、  
なるほど、ふんわりと甘く、純米仕込みならではの  
澄み切った味が広がっていきます。  
「ここでしか買えないんです。うちの酒は※」。  
簡単に店頭で購入できないものだからこそ、特別感が増す。  
また、あの味に会いたいと思う。  
酒蔵見学に来られるお客様は、私たちのように、  
後ろ髪を引かれる想いで蔵を後にするのでしょう。

※インターネット販売も行っています。

バックナンバーも  
ご用意しています。  
Back Number



vol.1  
スイージーの3つの  
納入実例を掲載。  
断熱リフォーム  
「+ECO Reform」の紹介。



vol.2  
スイージーの2つの  
納入実例を掲載。  
無垢の床マット  
「びたゆか」の紹介。



vol.3  
スイージーの3つの  
納入実例を掲載。  
新登場のスイージー、  
ウォールナットの紹介。



vol.4  
スイージーの3つの  
納入実例を掲載。  
スイーゼトリコと  
ダイニングファニチャーの紹介。

編集後記  
From Editor

今回、取材の後に立ち寄った新潟市内のとある  
料亭で、素敵な縁がありました。お仕事帰りの常連  
さんが「新潟に来たなら、今代司に寄っていき」と。  
翌日さっそく酒蔵見学に行き、日本有数の酒処  
新潟を賞賛に感じることができました。お酒の香りや味、  
歴史を感じる蔵の外観…五感が刺激され、「木の

ある紀行」第二弾として書こう。そう心に決めて帰路に  
つきました。こうした縁は、いつ何時でも大切にしたい  
もの。取材にご協力いただいた方々も、また縁。  
無垢材に対する想いを伺っていくうちに、さらに無垢  
の魅力を発見。「無垢と暮らす人々」との出会いが、  
豊かな思考や新しい視点を与えてくださるものです。

スイージー取材物件  
募集中

詳しくは弊社営業までお問い合わせください。

※2013年時点の施工現場のため、現在は仕様変更・生産終了となったアイテムが含まれる可能性があります。

